大分工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	世界史

科目基礎情報

科目番号	R05G203	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	一般科目	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	（教科書）岡崎勝世ほか著，『明解　世界史A』，帝国書院.		
担当教員	田中 美穂		

到達目標

(1) 世界史の流れや基本的な用語を覚え，世界史に関する基礎学力を身につける．（定期試験）
(2) 過去とのつながりを尊重しつつ，現代を考える力を身につけ，論述する力を養う．（定期試験）
(3) 二つの世界大戦をはじめ，近現代史の動きを理解し，時事問題にも関心を持つ．（定期試験）
(4) 歴史を学ぶことで，世界のさまざまな民族・宗教・国家の成立について理解し，平和共存の道を探究する．（定期試験）

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
到達目標（１）の評価指標	世界史に関する基礎学力が高い.	世界史に関する基礎学力がある.	世界史に関する基礎学力がない.
到達目標（２）の評価指標	世界史に関する論述力が高い.	世界史に関する論述力がある.	世界史に関する論述力がない.
到達目標（３）の評価指標	時事問題について関心が高い.	時事問題について関心がある.	時事問題について関心がない.
到達目標（４）の評価指標	世界の多様性について理解力が高い.	世界の多様性について理解力がある.	世界の多様性について理解力が低い.

学科の到達目標項目との関係

学習・教育目標 (A1)

教育方法等

概要	世界のさまざまな地域の古代から現代までの歴史を学ぶことを通して，広い教養や知識を身につけ，物事を多面的に考える力を養う．とくに，現在起こっている「世界の諸問題を考えるために歴史を学ぶ」という立場で授業を行う．世界各地の主要な宗教の起源，多様な国々や諸文化の成り立ち，世界各地の戦争や紛争の歴史を講義していく．
授業の進め方・方法	授業計画に従って，基本的に講義によって進めていく．参考図書や文献は随時，授業中に紹介する． （事前学習） 次回の授業範囲を教科書でよく読んでおくこと.
注意点	（履修上の注意） 授業中にノートをきちんと取り，予習と復習をしっかりすること. （自学上の注意） 授業で次回の範囲（頁数）を伝えるので，教科書を読んで予習しておく.

評価

（総合評価）
総合評価＝定期試験４回分の平均点　（※ただし，出席状況および授業態度によって総合評価の１０％を下げることがある）
（再試験について）
４回の定期試験の平均点が60点未満の者には再試験を行うことがある．この場合の実施方法，条件などは授業において明示する.

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	東アジアの文明	古代の東アジアの歴史について理解できる.
		2週	モンゴル帝国とインド	モンゴル帝国と古代インドの歴史について理解できる.
		3週	オリエント文明とイスラーム	キリスト教世界とイスラーム世界との関係について理解できる.
		4週	ヨーロッパの文明	前近代のヨーロッパの歴史について理解できる.
		5週	ユーラシアの交流	東西文明の交流の歴史について理解できる.
		6週	明と清	中国の明と清の時代について理解できる.
		7週	ルネサンス	ルネサンスの歴史と文化について理解できる.
		8週	大航海時代	大航海時代について理解できる.
	2ndQ	9週	前期中間試験	到達目標（１）（２）（４）
		10週	前期中間試験の解答と解説 アメリカの独立	試験の見直しと確認ができる. 合衆国の独立について理解できる.
		11週	フランス革命	フランス革命とナポレオンの時代について理解できる.
		12週	産業革命	産業革命と労働問題，社会主義運動について理解できる.
		13週	19世紀のヨーロッパ	イタリアとドイツの統一，ヨーロッパ近代の文化について理解できる.
		14週	南北戦争	合衆国の人種差別と南北戦争の歴史について理解できる.
		15週	前期末試験	到達目標（１）（２）（４）
		16週	前期末試験の解答と解説	試験の見直しと確認ができる.
後期	3rdQ	1週	アジア諸国の植民地化	ヨーロッパ列強によるアジア諸国の植民地化について理解できる.
		2週	辛亥革命	中国の近代化の動きや辛亥革命について理解できる。
		3週	帝国主義	帝国主義的な植民地支配の問題について理解できる.

		4週	第一次世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命について理解できる.
		5週	ヴェルサイユ体制	ヴェルサイユ体制，トルコ革命，パレスチナ問題について理解できる.
		6週	ファシズムの台頭	世界恐慌，イタリア・ドイツのファシズムの台頭について理解できる.
		7週	第二次世界大戦	日中戦争，第二次世界大戦とホロコーストについて理解できる.
		8週	戦争の終結	第二次世界大戦の終結について理解できる.
	4thQ	9週	後期中間試験	到達目標（１）～（４）
		10週	後期中間試験の解答と解説 冷戦の時代	試験の見直しと確認ができる. 冷戦の時代について理解できる.
		11週	ベトナム戦争	キューバ危機，公民権運動，ベトナム戦争について理解できる.
		12週	冷戦の終結	文化大革命，ソ連の解体，東欧の民主化について理解できる.
		13週	超大国アメリカの戦争	ＥＵ成立，湾岸戦争，同時多発テロとイラク戦争について理解できる.
		14週	地球的課題	紛争とテロ，原発事故など現在の世界の諸問題について理解できる.
		15週	後期末試験	到達目標（１）～（４）
		16週	後期末試験の解答と解説	試験の見直しと確認ができる.

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	前9,前10,前11,前12,前13
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	後8,後10,後11,後12,後13,後14
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	後2,後3,後5,後6,後7,後14

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0